

2009年度 和泉市合同調査報告書

和泉プラザでは、昨年の和泉市合同調査(2009年9月28日(日)～30日(水)、調査対象地:和泉市納花町、参加者計53名)の報告書を、実行委員長藤井正太(G-COE特別研究員)・久角健二(和泉プラザ研究補助スタッフ)を中心とした実行委員会で作成した。昨年は、納花にある二つの水利組合や山の用益の歴史的展開を調査の主軸として、1980年代以降における谷山池周辺の山への産廃処理業者進出に対する地元町会の反対運動と和解、リサイクル公園建設までを位置付け、地域の「歴史的現在」の様相を見通すことができた。

このほか、2009年度後期の文学研究科大学院考古学ゼミ(担当・岸本直文)における、谷山池周辺の開発と水利に関する研究成果、日本史講読(担当・塚田孝)の授業における、納花町・森医院所蔵史料の近世の土地売買・質入関係史料を分析した成果も、あわせて合同調査の報告書とした。

これらは2010年5月刊行の『市大日本史』13号に掲載される予定である。



当日の史料調査の風景

■久角健二(和泉プラザ研究補助スタッフ)